周波数、純度1000倍に

高速光通信へ電通大が光源開発

電気通信大学の上野ら

康藤教授らは、毎秒2000個の光

増幅器を用いた高精度ホモクロストラム

誘電率の変動を低減できる新世代高

波長を用いた光通信システムの

開発に取り組む。この技術は、高

性能な光通信システムの実現に

向けられる可能性がある。

実証実験として、図のように、

半導体レーザーを用いて、

周波数を1000倍に拡張し、

純度を従来の100倍に向上させた試作機

を公開した。この結果、

実験においても、

良好な性能を示している。

この成果は、

高速光通信技術の

発展に大きく寄与する

と期待されている。

（2008年3月25日付け第1面）